

## 審査基準表

(ダム流入量予測システム構築業務委託)

(別紙1)

	審査項目	審査基準	総合
<b>1 全体事項</b>			
1-1	事業目的の理解	・ 事業の趣旨や目的を十分に理解しているか。	20
1-2	業務実績等	・ 本業務に類似したシステムの導入又は運用の実績があるか。 (実績毎に委託者名、業務概要、委託期間を記載すること。) ・ 当該事業を実施するために必要な専門的知識や情報を有しており、その知見を活かす提案であるか。	
<b>2 必須事項</b>			
2-1	要件定義	・ 事業目的を達成するための要件定義に向けた具体的な方針が示されているか。 ・ 利用者の意見を反映させるための工夫が提案されているか。	120
2-2	システム機能	・ 必要な機能が全て実現できているか ・ 各ダムの担当者が共同で利用するための機能が明確に示されているか。 ・ ユーザービリティやデータの二次利用の容易性に配慮した機能となっているか	
2-3	構築・テスト	・ 既存システムへの影響を最小とする工夫があるか ・ 効率的かつ網羅的にテストを実施する提案となっているか	
2-4	教育・研修	・ 教育・研修について具体的な方針が示されているか。 ・ 対面での研修が困難な場合の方針が提案されているか。	
2-5	操作マニュアルの作成	・ 利用者がわかりやすいマニュアルを作成する工夫について提案されているか。	
2-6	システム保守	・ 運用支援及び保守体制が提案されているか。 ・ 障害発生時等の緊急対応体制が提案されているか。	
<b>3 提案事項</b>			
3-1	提案に関すること	・ 提案内容に独創性はあるか ・ 提案内容、説明内容、質疑応答等の印象等	10
<b>4 実施体制等</b>			
4-1	実施体制・スケジュール管理	・ 積極的、主体的に業務を履行する提案がされているか。 ・ プロジェクト管理者は豊富な実績を有しているか。 ・ 柔軟性や即応性を有した現実的な業務実施体制が提案されているか。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した内容になっているか。 ・ 無理のない作業スケジュールが提案されているか。	30
4-2	秘密保持と公平性の確保	・ 情報管理の徹底が図られる体制となっているか。 (社内や外部の監査体制が明記されているか。)	
1から4の合計			180
<b>5 見積金額による加算</b>			
5-1	本業務について	加算点 = (1 - 本業務見積金額 × 1.1 / 予算上限額) × 10 ※小数点第3位以下切捨て	10
5-2	運用保守について	加算点 = (1 - 保守運用見積金額(5年間分) × 1.1 / 予算上限額) × 10 ※小数点第3位以下切捨て	10
5の合計			20
<b>1から5の合計</b>			<b>200</b>

### 【審査方法】

- (1) 審査員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての委員の点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託候補者として決定する。  
なお、点数が同点の場合は、審査員の協議により決定する。
- (4) 委員の合計点数が最低基準点である600点(満点1,000×6割)以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である600点(満点1,000×6割)以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

### 【評価基準(5段階)】

- 5 標準より非常に優れた提案
- 4 標準より優れた提案
- 3 標準的な提案
- 2 標準よりもやや劣る提案
- 1 標準より劣る提案